

緑と清流に囲まれ、鬼北の夏を満喫

◎せせらぎ魚っちんぐ



岩の下に潜り込んだアマゴをゲット

日吉一希を起こす会(会長・中川博之)が主催する「せせらぎ魚っちんぐ」は7月16日、節安ふれあいの森で行われました。大自然の中で夏を満喫しようとして、毎年町内外から多くの人が訪れる本イベント。アマゴの渓流釣りや、子どもを対象とした「水生生物のお勉強会」など、自然の中での生き物との触れ合いを楽しみました。

また、大好評のアマゴのつかみ取りでは、大人も子どもも無我夢中で魚を追いかけ、それを見守る見物客からも、「あそこにある」「ここにある」という声が飛び交っていました。

1枚にぎゅっと詰まった鬼北の美味

◎成川渓谷ピザ祭り



自分で作ったピザを頬張る子ども

「成川渓谷ピザ祭り」は7月23日、成川渓谷休養センター下月の駐車場で開催されました。鬼北町産の夏野菜をふんだんに使用したトマトベースのピザと、特産品のきじ肉を使用した柚子味噌ベースの2種類のピザが売りの本イベント。この鬼北の味を堪能しようと、多くの親子連れなどで賑わいました。

まず、訪れた人たちはオリジナルのトッピングに挑戦。それぞれに個性豊かなピザが完成し、石窯で焼き上げられると、会場にはおいしそうな香りが漂い、思わず来場者の顔はほころんでいました。

災害に強いまちづくりを目指して

◎災害時の被災者支援に関する協定調印式



愛媛県行政書士会の会員とともに

今回の協定は、災害が発生した場合、愛媛県行政書士会の会員を鬼北町に派遣し、被災支援の相談窓口を設置するもの。そして、その相談窓口において、罹災証明書申請書類や相続関係書類等に関する相談業務を実施することを目的に、締結されたものです。

兵頭誠(鬼北町長)は、「私たちにとってこの協定そのものが安心」と話し、愛媛県行政書士会の山本大樹会長は、「鬼北町と、兵頭誠(鬼北町長)は、「私は安心」と話し、愛媛県行政書士会の山本大樹会長は、「鬼北町民のために役に立ちたい」と決意を述べていました。

7月13日、鬼北町役場で「災害における被災者支援に関する協定」の調印式が行われました。今回、災害が発生した場合、愛媛県行政書士会の会員を鬼北町に派遣し、被災支援の相談窓口を設置するもの。そして、その相談窓口において、罹災証明書申請書類や相続関係書類等に関する相談業務を実施することを目的に、締結されたものです。

無事故、無違反、安全運転第一！

◎第56回交通安全県民大会



大会の様子

7月19日、松山市のひめぎんホールで「第56回交通安全県民大会」が開催され、鬼北町から11人の方々が表彰されました。(敬称略)

受賞した方々は次の通りです。

●全日本交通安全協会長表彰	●優良運転者	●東仲(父野川下)	●古谷通(清水)	●善家忠一(久保田正敏)
●四国管区警察局長・四国交通安全部長連名表彰	●優良運転者	●上鍵山(芝常雄)	●上甲徹(内深田)	●音地幹雄(西川鈴香)
●愛媛県警察本部長・愛媛県交通安全協会長連名表彰	●優良運転者	●下鍵山(伊手秀行)	●五島光香(久生田)	